

# 【社会科編】

## 1 学習方法

### ① 教科書の学習

社会の教科書は最初にそのページで学ぶ**学習課題**が載っているので確認します。



この資料から分かることは？

何のためにこれが載っているんだろう。

「確認しよう」「説明しよう」もやろう。

この2ページの文章や写真・資料などをもとにして、最終的に学習課題「奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのでしょうか。」に対する「答え」をまとめていきます。「奈良時代は…な事情があり、〇〇という制度が作られた。その結果人々の生活に△△な影響を与えることになった。」と、まとめていくイメージです。

この〇〇や△△の部分は教科書で太字になっている重要語句や写真、表、資料などから読み取っていきます。

### ② 問題演習

ワークやプリントなどで、自分が理解しているかを確認していきます。「知らない・忘れてる」ものは改めて調べ直しましょう。答えとなる用語から逆に問題文を作れるようになればしめたものです。

## 2 ポイント

☆社会科の重要用語（教科書の太字）は確実に知っておこう。

「墾田永年私財法」という単語だけ知っていても使えません。「墾田永年私財法って何？」と聞かれて説明できるようにしましょう。さらに「なぜ墾田永年私財法が作られたの？」「墾田永年私財法ができて世の中はどうなったの？」と掘り下げて調べましょう。

☆資料に親しもう。

グラフや表、雨温図などの特徴は？そこから何が分かる？社会科は資料（社会的事実）から仕組みや特徴、当時の人々の願いや工夫を解き明かしていく学問です。

☆今（現在）の自分とのつながりを考えよう。

勉強したことは今の自分の生活とどう関わってくるか。または今の自分たちの生活と何が、どう違うのか。自分がその時代、その地域に生きていたらどう考えるか、など自分とのつながりで考えると、社会科はより身近な、生きた教科になってきます。

### 3 評価の観点と方法

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に 取り組む態度
評価の観点 と趣旨	我が国の国土と歴史, 現代の政治, 経済, 国際関係等に関して理 解しているとともに, 調査や諸資料から様々 な情報を効果的に調べ まとめている。	社会的事象の意味や意義 特色や相互の関連を多面的 ・多角的に考察したり, 社 会に見られる課題の解決に 向けて選択・判断したり, 思考・判断したことを説明 したり, それらを基に議論 しりしている。	社会的事象について, 国家 及び社会の担い手として, よりよい社会の実現を視野 に課題を主体的に解決しよ うとしている。
評価方法	定期テスト 小テスト タブレットの活用 授業中の発問	定期テスト レポートやワークシート 授業中の発問に対する解答 話し合い活動の様子	授業態度・提出物 レポートやワークシート 自主学習

### 4 授業の受け方・ポイント

#### ○課題を解決しよう

社会科は単元ごとに大きな課題（テーマ）が出てきます。例えば「世界の人々はどんな生活をしているのだろうか」とか「第二次世界大戦とはどのような戦争だったのだろうか」といった具合です。その課題解決に毎時間の授業で必要な情報を集めていきましょう。

#### ○積極的に参加しよう

先にも述べましたが、社会科は与えられた資料（文章・写真・表・グラフ…）などからどんなことが読み取れるのか考察することが大切です。まとめられた板書をただ写すのではなく、資料からどんなことが分かるか考え、どんどんメモを取りましょう。そしてその後の結果を予想したり、賛成反対などの立場をはっきりさせたりしましょう。予想を立てたり立場を決めたりすると自ずと社会科に対する興味関心は高まります。

#### ○様々な立場や側面から考えよう。

ある出来事もAの立場で見たときとBの立場で見たときでは受け取り方が異なるということはいくつもあることです。いろいろな立場で考えたことを整理していきましょう。

### 5 家庭学習

○定期テスト前にまとめて勉強しても効果は薄いです。その日の学習をその日に復習し、定期的に振り返ることを繰り返すことが大切です。

○ワークや問題集など、覚えてなければ解けない問題で長時間悩むのはやめましょう。分からなかったら解答を見て改めて覚え直した方が効率がよいです。

○時事問題やニュースに感心をもとう。中学校で学ぶ社会科は今現在のニュースにつながっているものがたくさんあります。

社会科担当	木村友彦	金杉寛	長澤寛
-------	------	-----	-----